

8月11日（月）

主に遣わされた私たち

聖書朗読 ヨハネ 17：6～19

主は…あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

Ⅱペテロ 3：9

四世紀の初頭、北アフリカ、アジア、南欧各地にキリスト教修道院が建立されるようになりました。これらは修道僧がこの世から遠ざかり、各人が神に近づくためのものでした。

しかし、修道僧のこのような在り方は、イエス様が十字架につけられる直前に捧げた祈りで弟子に望まれた姿には程遠いものです。主は、祈りの中で「世」に16回も言及されています。そしてこのように言われます。『彼らをこの世から取り去ってくださるようというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします。わたしがこの世のものではないように、彼らもこの世のものではありません。真理によって彼らを聖め分ってください。あなたのみことばは真理です。あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。』（ヨハネ17：15～18）

神様は、私たちを世から遠ざけようとはなさいません。むしろ私たちが世の光、地の塩、そして福音を宣べ伝えるパン種として世に遣わしてくださっています。イエス様がこの世のものであられなかったように、私たちもこの世のものではありません。御言葉を通して、神様は私たちを特別に選び、完全に神様のものとしてくださいました。イエス様を、失われた人を捜して救うために遣わされた（ルカ19：10）ように、私たちにも同様の使命をお与えくださっています。この罪深い世で、主に遣わされたものとして用いられ、仕えることはなんと大きな誉れでしょう。

讃美歌 第二編 183

祈り 神よ。あなたの御目を通してこの世を見、あなたの御心を通して罪の惨禍を痛感できますようにお助けください。暗き世にあなたの光を届けるために、私たちを召し上げてくださったことに感謝します。

イエス様に御名によってお祈りします。 アーメン。

ディック・エイディー
オレゴン州 グレシャム

今日の力

2014年8月11日～8月17日

翻訳 箕作玲子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月12日(火)

祈りに応えて生きる

聖書朗読 ヨハネ 17:20～26

それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおおようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。

ヨハネ 17:21

十字架につけられる時が刻々と迫る中、神に捧げられたイエス様の切実な祈りは我々に震えを起こします。この祈りに込められた最大の願いは「一体性」の一言に集約されるでしょう。弟子たちをはじめ、後にクリスチャンと呼ばれる人々全ての信仰の一体性、そして、イエス様ご自身を通して得られる、人間と三位一体なる神との一体性を主が切望されていることが読み取れます。また、この祈りからは父なる神の御心について多くを学ばされ、主イエス・キリストを通して全てを一つになさろうという神様の偉大なご計画を窺い知ることができます。このご計画はあまりに壮大であるために、私たちにはその断片しか理解できないほどです。

イエス様の真の願いは、新しい天と地が到来した時に、全ての人がイエス様との一体性——初めに天と地が創造されるよりも以前から神と子と聖霊とが共に享有されてきた一体性——を享受し、分かち合うことです。イエス様は聖なる一体性にあずかるよう、私たちを招いてくださり、ヨハネ17章の偉大な祈りの中でその実現を祈ってくださいます。

イエス様の祈りにふさわしくあるように生きることが、我々に求められてはいないのでしょうか。主が願われ、祈られた事柄がある限り、私たちはその通りに生き、願い、そしてまた祈らねばなりません。イエス様の祈りは私たちのうち誰が神に受け入れられるか否かの基準を示すためのものではなく、神の創り給うた全ての人の心が一つとなるために祈り、その実現を得るべく具体的に奉仕することを求める祈りです。さあ、今こそイエス様の祈りに応える人生を生きましょう。

讃美歌 71

祈り 天にましますお父様。聖なる一体性を願われるお父様の願いで、私たちの心を満たしてください。

イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウェストレイク・ビレッジ

8月13日(水)

試練の時

聖書朗読 ヨハネ 18:1～11

「時が来ました。見なさい。人の子は罪人たちの手に渡されます。」

マルコ 14:41

イエス様が地上で民衆にお仕え下さる時はついに終わりを迎えました。いよいよ十字架の苦難が始まり、そしてイエス様が主の主、王の王となられるための壮大なご計画の完成を迎えます。

十字架にかかる前の最後となる教えを使徒に授け、振り絞るように熱のこめられた祈りを捧げると、イエス様は度々訪れていたゲツセマネの園に弟子たちを連れて行かれました。この時、主がどこにいらっしゃるかを知っていたため、そして何より主の御顔を知っていたために、ユダは熱狂的な宗教者の一味を引き連れ、イエス様を捕らえに向かっていました。

想像するだに恐ろしい場面ではありますが、この時のイエス様の御姿を想う時、私は微笑みを禁じ得ません。恐怖心に囚われ、興奮で我を失っている一味に対し、一方のイエス様はただ冷静に問います。「だれを捜すのか」。彼らは「ナザレ人イエスを」と答えましたが、イエス様の次なる言葉は彼らを地に倒れ込ませるものでした。彼らはイエス様がお持ちの御力を恐れたのでしょうか。それともイエス様が神の尊き御名そのもの「それはわたしです」(=『わたしはある』出エジプト3:14参照)を返答とされたことに恐れをなしたのでしょうか。

イエス様と一味の間で再度この問答が繰り返されると、イエス様は周りの者を救うために御自身を一味に差し出します。シモン・ペテロが衝動的にマルコスの耳を切り落とした一件の後、イエス様は、「杯」(苦難)を受け入れると仰せになります。杯は、先刻までイエス様がひたむきに祈られていた事柄でありました。—— 御子は父なる神の御意(みこころ)のうちにあられます。

讃美歌 316

祈り 愛します主よ。御自身に与えられた試練の時をイエス様がどのように迎えられ、対応されたかをお教え下さり、感謝します。私たちが困難に向かった時に、イエス様を覚え、手本とできますようにお力をお与えください。

イエス様の尊き御名を通してお祈り申し上げます。アーメン。

キース・S・ホッジズ

テキサス州 マーシャル

8月14日(木)

床を整えて ～オ・モ・テ・ナ・シ～

聖書朗読 使徒 16:11～15

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの遣わす者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。」
ヨハネ 13:20

初代教会において福音の伝道とは即ち旅を意味しました。巡回説教者の多くは貧しく、徒歩で移動していましたので、キリスト者は福音を伝える者たちを家に迎え入れ、客人としてもてなすことを求められました。

容易にホテルなどの宿泊設備が利用できる今日、私たちが自宅に他人を迎え入れ、もてなすことは少なくなりました。しかし、このためにかえって、私たちは神様からの尊い贈り物にあずかる機会を逃しているかもしれません。もてなしは通常家庭でなされますが、仕事場でも、電話を通してでも、キャンプ先でもどこでも行うことができます。身体的にも、感情的にも、そして信仰上でも、誰かを必要としている人がいる限り、神様は温かい空間と開かれた心を持ってもてなしをするように私たちに求めておられるからです。

以前、ある女性のもてなしへの姿勢に大変感心いたしました。ある時、その方が美味しいパイを皆に切り分けていると、「あなたの手作り？」と尋ねられました。するとその女性は「いいえ！でも皆さんにおもてなしをしたくて持って来たのは私よ！」と笑って答えました。彼女のあたたかな心づかいは、パイの美味しさ以上に感謝され、皆の心に残ったことでしょう。

子ども時代の思い出の中でも特に懐かしく思い返すのは我が家にお客様がいらっしゃった時のものです。そして現在、きちんとちゃんと計画して行っているものではありませんが、私が最も有益に用いていただいているご奉仕は、我が家でお客様をもてなすことではないかと思えます。主人は「私たちの奉仕はシーツを取り替えて床を整えることだね！」と何度も言ったものです。私たちは誰でも、用いられて奉仕をする機会が与えられます。おもてなしから始めてみてはいかがでしょうか？

讃美歌 393

祈り 愛する主よ。あらゆる形でのもてなしを必要とする人々に対して、私たちの心を開いてください。喜びを持って仕えることができるように私たちを変えてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

スーザン・ギボニー

カリフォルニア州 マリブ

8月15日(金)

神 と 患 難

聖書朗読 ローマ 8:31～39

あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。
ヨハネ 16:33

先日、飛行機で隣の座席の少女に職業を尋ねられました。私が牧師だと答えると少女は、「私も前は教会にちゃんと行ってたの。でも、離れちゃった。私、何をしちゃったんだろう。なんで神様はこんなに私を怒ってるんだろう」と言い、続けて痛ましい身の上を私に分かち合ってくれました。少女のわずか17年の人生はあまりにも困難と悲しみに満ちたものでしたが、私が特につらく感じたのは少女が「どうしても分からないけど神様は私を怒っている」との思いに捉われていることでした。人生に訪れる困難は神様の怒りを意味し、困難から脱け出せないのは神様から見放されたから、との結論をこの少女は導き出してしまっていたのです。

さて、少女の話聞いた翌日、私は女性のためのクリスチャンキャンプに指導員として参加しました。そこで、飛行機で出会った少女よりもほんのわずかに年長だったでしょうか、とある参加者が困難に満ちた人生を私たちに分かち合ってくれました。飛行機の少女と驚く程に似た、患難と苦痛続きの人生でしたが、この女性の受け止め方は前日の少女のそれとはまるで違うものでした。女性は、困難に中であって神様の愛に気づかされ、導かれたことに涙しながら感謝を捧げたのです。

似た境遇で似た経験をしながら、この二人の女性の導き出した「答え」はなんと異なるものでしょう。前者は、困難の訪れは神によって見放されたからだと言信じこみ、その悲しみに捉われました。そして後者は、困難の訪れによって、神様の愛に気づき、主の愛だけが困難から自らを救い出す力を持つことに気づかされたのです。

讃美歌 254

祈り 愛する主よ。あなたは、私たちがこの世を生きゆく中で様々な困難が訪れることをお教え下さいます。困難に見舞われた時には、私たちがあなたから離れることなく、むしろ困難を通してあなたのより深い愛へのお導きを得ることができるよう心より祈ります。

イエス様の御名を通して。アーメン。

デービッド・ラングフォード
テキサス州 ラボック

8月16日(土)

心の一新して

聖書朗読 ローマ 12:1~8

無慈悲、憤り、怒り、叫び、そしりなどを、いっさいの悪意とともに、みな捨て去りなさい。
お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくだ
さったように、互いに赦し合いなさい。 エペソ 4:31~32

何年も昔のことですが、市の清掃局から黒くて大きなゴミ箱が配られました。勝手口からゴミ捨て場まで楽々とゴミを運べる、車輪付きのこのゴミ箱は大変重宝しました。その数年後、清掃局から今度は青いゴミ箱が住民に配られました。こちらはビン、缶、古紙など、資源ゴミのためのものでした。資源の再利用のために、ゴミを分別することは私のちょっとした楽しみになりました。そして、二色のゴミ箱にやっと慣れた頃、また新たなゴミ箱が届きました。今度は緑色のゴミ箱です。こちらは落ち葉や刈り草などを集めるためのものでした。清掃局は次回には何色のゴミ箱を配るだろう、と想像をかきたてられています。

散らかった場所の片付けや掃除を楽しんでいる人はあまりいないでしょうが、身の回りが綺麗に整えられていると気持ちのいいものですね。クローゼットや押し入れの整頓はきちんとしていますか？ 車庫の掃除はいかがですか？ 私の家の車庫はと言うと・・・はい。恥ずかしい限りですが、雑然とした物置と化しています。

では、「心の大掃除」はいかがでしょう。整理して「ゴミ捨て場」に運ぶような荷物はありますか？ もちろんありますね。日常の中のつまらない恨みごとやちょっとした嫉妬心、神様をおろそかにしている気持など、私たちは何かしら「ゴミ捨て場」に運ぶべき余分な物を貯めこんでしまっています。ゴミを捨てて心の中を風通し良くしましょう！そして、選り分けて残した心の善を整頓して優先順位をつけ、更には広くなった心の中でそれらを育て、神様に喜んでいただきましょう。

讃美歌 第二編 188

祈り 愛する天のお父様。心の中の散らかりを片付け、心を一新してあなたの喜ぶ気持ちで満たしてください。

イエス様の御名を通して。アーメン

カーサ・ウィンザー

カリフォルニア州 サンディエゴ

8月17日(日)

私はヒーローになります

聖書朗読 ローマ 12:9~21

悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

ローマ 12:21

誰も、心の中でヒーロー願望を持っているものです。罪にある人、あるいは悲しみ、苦痛、何らかの困窮に苦しむ人を助けてあげたい。家族を養い、助け、守りたい。職場で勤勉に働き、頼りにされたい。地域の良き隣人でありたい。こうした様々なかたちで、人は人の助けになりたいものです。私も同様で、結婚50周年祝いにもらったカードの中でも「あなたは私のヒーローよ!」と書かれたものに大喜びし、今も大切にしています。

しかし、悪者と闘って人々を救うマンガや映画の中のヒーローと違い、信仰にあるヒーローは善を為すことによって悪に打ち勝ちます。

私にはシリア内戦下で苦しみにある人を救うことは出来ませんが、平和を願って祈ることができます。気候変動によって生活をおびやかされる人を救うことは出来ませんが、こまめに電気を切って節電を心がけることができます。愛する者をしのびよる病から守ることは出来ませんが、快復を願って栄養ある食事を用意し、病身をしっかりと休ませることが出来るように環境を整えることができます。

誠実な愛を持ち、悪を憎み、善に身を委ねることができます。人に忠実に相対し、敬意をもって接することができます。心に喜びを持ち、忍耐強くあり、祈りを忘れず、寛大に尽くし、もてなしの心を忘れずにいることができます。人の喜びを祝福し、共感し、温和に生きることができます。この世での名誉にとらわれず、報復をこらえることができます。

私は、飢えた敵に食べさせ、渴いた敵に飲ませることができます。

私は、悪に負けません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちます。

讃美歌 第二編 17

祈り 天にましますお父様。無力な私たちをヒーローに変えてくださり、感謝します。悪者と関わらずとも、善を為すことでヒーローとして下さるお父様を賛美します。この世をあなたの御心に適うものとすべく、与えられた使命を果たすことができますようにどうぞお守り下さい。最善を為してくださるお父様を信じます。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ビリー・シルビー

カリフォルニア州 ロサンゼルス